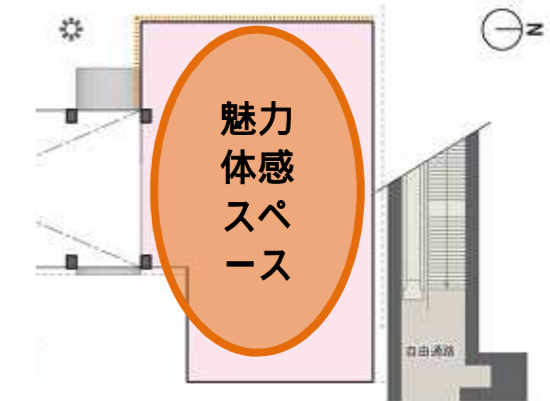


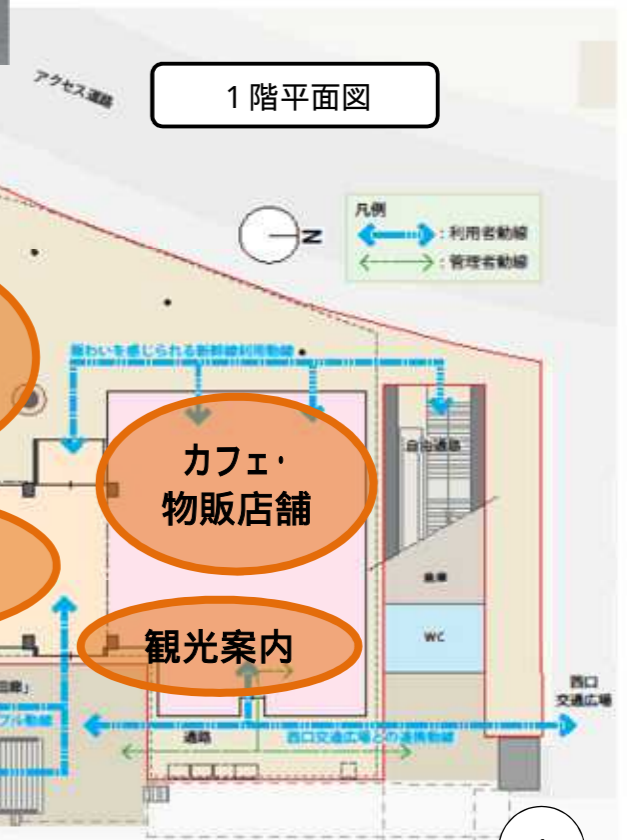
芦原温泉駅西口駅前広場外観デザインイメージ



整備場所位置図



2階平面図



1階平面図

「あわらならではの和心あふれる賑わい広場」

駅利用者の利便性を向上させるとともに、市民や駅利用者が集い、ともに憩えるエリアとして、駅周辺のさらなる賑わいを創出する施設を整備し、福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい広場」とします。

「市指定天然記念物の大鳥神社の大銀杏や沢春日神社の大杉」をモチーフとした、木のぬくもりを感じることのできる「あわらならではの駅前広場」とします。

新幹線駅舎や西口立体駐車場のデザインとの調和を図るとともに、西口駅前広場から金津本陣にぎわい広場や駅前商店街といった駅南西部に対し大きく開かれた施設配置とすることで、まち歩きを促し、駅周辺と一体となった賑わいの創出を図ります。

日中は、樹木のような大屋根を支える柱に囲まれ、やわらかな光が差し込む森の中にいるかのような広場とし、また日没後は、柱上部を「ぼんぼり」のイメージを醸し出すように内部から間接照明等で優しく照らし出すなど、和心を感じることができる憩いの場とします。



北陸新幹線芦原温泉駅舎イメージ



西口立体駐車場イメージ



多様なイベントと多目的に活用できる空間整備

販わいホール(屋内ホール)は、雨、風、雪といった天候に左右されることなく、太陽の光の届く利用者の憩いの空間とし、団体旅行の待合所としても利用可能な空間とします。

また、広場とホールの間を可動式のガラス戸とすることで、開放時には一体的な大きなスペースとして利用することができ、文化・スポーツ団体や小中高生によるステージイベント、農業者や商業者などによるフルーツマルシェや野菜の軽トラ市、ワゴン市など多目的に活用できます。



販わいホール空間イメージ

色々なシーンに対応する販わい広場

○販わい広場と販わいホールを幅広く一体化することで、敷地全体を多様なイベントに活用できます。また、「芦原温泉駅まちづくりデザイン部会」での想定座数や台数以上を確保します。

○内部と外部が一体化することで、イベント開催時の賑わいが、販わいホールから駅周辺へと発信できる、まちに開かれた施設となります。また、イベント時でも利用者動線を確保します。

○イベント時に利用できる電源や給排水設備を、日常利用の障害にならない柱などに設け、様々なイベントに活用できる計画とします。また、天井にも電源等を設け、大規模イベントに対応します。

広場活用パターン	標準数量
映画祭	客席：189 席
イベントステージ	4人張×65脚=260席
ワゴンセール	ワゴン車(屋外)：32台
軽トラ市	軽トラ10台
団体客の特集	外部：304人整列
	内部：200人整列

凡例
 [Red dashed line] : イベントエリア
 [Blue arrow] : 施設内利用動線

